

武庫川水系武庫川

Mukogawasukei MUKOGAWA

ずっとすすめる自然へ。

整備を行った区間は、緩やかな流れを好むタナゴ類や二枚貝類をはじめ、貴重種を含む多くの種の魚類や底生動物、水生動物が生息・生育しており、全県的にも生物多様性が高い場所でした。そこで、河川改修にあわせて、自然環境の保全・再生を図るため、専門家の意見を聴きながら次のような対策を行ってきました。

①タナゴ類の生息場所となる緩やかな流れなどを再生するため、現況と同様なみお筋（※1）を再生。②袋詰め玉石等を設置して、深みができる工夫を行い、淵（※2）を再生するとともに淵の下流に瀬（※3）を再生。③ワンド（※4）やたまり（※5）を再生し、メダカやヤゴなど、移動能力が低い種の洪水時における避難場所を確保。④オギ群集の早期再生のため、掘削した表面の土を再利用。改修後も、動植物がすみ続けられる環境が保全されています。

※1 川の中で、普段の水が流れる主な川筋のこと。

※2 川の流れがゆるやかで深いところ。

※3 川の流れが早く浅いところ。

※4 川岸にできた池状の入り江。

※5 川から独立した水域のこと。



Before



After



N35度1分22秒 E135度10分15秒
(35.023,135.171)

